

ジオパークって何だろう？

「人の暮らし」は、「大地（地球）」の上に成り立っています。古代より出雲・松江地域に暮らす人々は、数千万年前にアジア大陸から切り離され、度重なる地殻変動によってできた大地と向き合い、特徴的な歴史や文化を生み出してきました。

ジオパークでは、『大地と人のつながり』を地域住民など多くの人に伝えることを通じて、自分たちが暮らす地域に誇りを持ち、この地域を次世代のために守っていくという意識を高める取り組みを行っています。

島根半島・宍道湖中海ジオパークエリアは、出雲市・松江市全域！

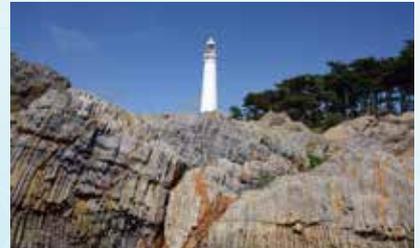


たちくえきょう
立久恵峡

すすみかいがん
須々海海岸（松江市）



嫁ヶ島（松江市）



日御碕

ビジターセンターで
ジオパークを体感しよう！

ジオ
GEO吉田による島根愛炸裂！
島根半島・宍道湖中海ジオパークに
いきたくなる紹介動画を公開中！

松江ビジターセンター
(松江市島根町加賀6120-14)
☎0852-85-9580
開館時間 / 9:30～16:30
休館日 / 火曜日、年末年始



日御碕ビジターセンター
(出雲市大社町日御碕1089-37)
☎0853-54-5400
開館時間 / 9:00～17:00
年中無休



動画配信中

ジオパークの
動画を配信中！
ホームページを
チェック！



第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会開催

ジオパーク関係者以外の一般のみなさまに楽しんでいただけるプログラムも実施します。

■会期 / 10月3日(日)～5日(火)

申込〆切 / 9月10日(金)

■会場 / 出雲市ビッグハート出雲(3日)・松江市くにびきメッセ(4・5日)

■テーマ / 今、なぜジオパーク？ ～国引きの地から持続可能な地域づくりを考える～

※新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じた上で開催しますが、感染拡大状況によっては、大会プログラムを変更する可能性があります。

一般公開プログラム(入場無料)

10/3(日)【会場】出雲市 ビッグハート出雲

◆市民公開講座 (13:00～15:45)

要申込

●ライブ配信あり

現地参加定員:130名
※定員に達し次第終了致します。

①講演「世界の巨石～人と関わる大地・文化・観光・ジオサイトの魅力」

講師:須田 郡司 氏(写真家、巨石ハンター)

②パネルディスカッション「出雲地域の大地と文化の関わり」

ファシリテーター 河野 美知 氏(神社ガールズ研究会会長)

パネラー 平野 芳英 氏(荒神谷博物館学芸顧問)

服部 昌幸 氏(出雲市佐香コミュニティセンター長)

入月 俊明 氏(島根大学学術研究院環境システム科学系教授)



講師:須田 郡司 氏
(写真家、巨石ハンター)

◆全国のジオパーク展示コーナー、物産展、スタンプラリー (10:00～17:00)

申込不要

10/4(月)【会場】松江市 くにびきメッセ

◆開会式 (9:00～10:00)

特別公演 (10:05～10:45)

ラフカディオ・ハーン

「小泉 八雲、「ジオ」へのまなざし」

講師:小泉 凡 氏(小泉八雲記念館長)

要申込

●ライブ配信あり

※参加人数の把握を行うため、事前のお申込みが必要となります。

◆展示ブース、物産展、ポスターセッション

(12:30～17:30) 申込不要

10/5(火)【会場】松江市 くにびきメッセ

◆パネルディスカッション (13:00～14:30)

「今、なぜジオパーク？」 要申込

●ライブ配信あり

※参加人数の把握を行うため、事前のお申込みが必要となります。

閉会式 (14:30～15:00)

◆展示ブース、物産展、ポスターセッション

(9:00～16:00) 申込不要

参加申込
はこちら



要申込のプログラムは事前の
参加申込が必要となります。
参加申込方法などについては、
島根半島・宍道湖中海ジオパークの
ホームページをご確認ください。

<https://www.kunibiki-geopark.jp/>
※オンライン参加についても参加
申込が必要です。

お問い合わせは下記まで
第11回日本ジオパーク全国大会
島根半島・宍道湖中海大会
実行委員会事務局
☎0852-55-5399
FAX 0852-55-5665
メール:kunibiki-geopark
@city.matsue.lg.jp



山陰
まんなか
共和国

中海・宍道湖・大山圏域市長会

中海・宍道湖・大山圏域市長会 通信

中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海と宍道湖沿岸の5市（出雲市、松江市、安来市、米子市、境港市）で構成し、圏域が一体となってさまざまな事業を展開しています。

6月5日 5市長による「トップミーティング」を開催しました



昨年7月以降、米子市を除く境港、安来、出雲、松江4市で新市長が誕生し、現在のメンバーになって、初めて5市長が顔をそろえ、連携強化を確認しました。

また、市長会結成から10年になることを踏まえ、圏域の将来像を示した指針「振興ビジョン」を改訂していくことを確認しました。



おたずね／政策企画課 ☎21-6612

OH!

地産地消コーナー まいがな出雲!

Vol.44 爽やかな香りとすっきりとした辛味 「出西しょうが」



斐伊川の伏流水と朝霧、土質など、さまざまなしょうが作りの条件に恵まれ、出西地区でしかできない良質なしょうがです。繊維筋が少なく、爽やかな香りとすっきりとした辛味が暑い時期にぴったりです。

～出西生姜組合 組合長 永戸文江さんにお話をうかがいました～

●出西しょうが栽培について

4月下旬から5月中旬に定植し、7月上旬に芽が出始めます。7月下旬から11月末ごろまでが収穫時期ですが、旬は8～9月です。排水対策は特に気を配って栽培しています。しょうがも生き物です。声をかけて育てているほどかわいいです。

●全国にいる出西しょうがのファン

毎年北海道から沖縄まで全国の方から、出西しょうがの問い合わせのお電話やお手紙をいただいています。昨年9月中旬に販売が終了しました。今年も新型コロナウイルスの影響は全くなく、例年通り予約を受け付けています。出西しょうがの問い合わせの電話があるたびに、頑張らないと!という気持ちになります。



地元でとれる食材のおいしさを再発見してもらい、積極的に消費してもらいたい!地元食材や生産者に親しみをもってもらい、地域への愛着を深めてもらいたい!との思いで、いろいろなお情報をお届けします。

今月の担当 農業振興課 ☎21-6557

●おすすめの食べ方

やっぱりしょうがのしょうゆ漬けや酢漬けが1番美味しいですね。夏バテ防止にもぴったりだと思います。しょうがの芋部に数カ所切れ目を入れて、しょうゆまたは三杯酢に1時間ほど漬けます。また、ニンジンとしょうがの天ぷらも作ったことがあるのですが、この組み合わせもとても良かったです。

●みなさんへのメッセージ

しょうがには殺菌効果があり、昔から風邪予防の食材として知られています。「娘やるなら出西郷へ、しょうがの香りで風邪ひかぬ」という唄も出雲には残っています。コロナ禍で体調管理に気を遣う今だからこそ、ぜひ食べていただきたいです。

**ぜひ、今が旬の出西しょうがを食卓に取り入れて
残暑を乗り切りましょう!**